

ニカラグア定期報告（2022年1月）

【要旨】

内政・外交面では、10日、オルテガ大統領の就任式が実施され、連続4期（通算5期）となる新政権が発足した。26日、汎米保健機構は、ニカラグア国内でオミクロン株を確認したと発表した。経済面では、ニカラグア中央銀行が11月の月次経済活動指数を昨年度比で13.2%増加したと発表した。

【主な出来事】

1 内政

（1）新教育大臣の任命

6日、リリアン・エスペランサ・ヘレラ・モレノ前チナンデガ教育研究事務所長が教育大臣に任命された。

（2）新国会議員の宣誓式

ア 9日、最高選挙管理委員会（CSE）の主権において、任期2022年から2026年のニカラグア新国会議員の宣誓式が行われた。主な新執行部役員は以下の通り。

国会議長	グスタボ・ポラス（再選）（FSLN党）
第一副国会議長	アーリング・アロンソ（初選出）（FSLN党）
第二副国会議長	グレイス・バエス（再選）（FSLN党）
第三副国会議長	マリア・ハイデイ・オスナ（再選）（PLC党）
一等書記官	ロリア・ラケル・ディクソン（再選）（FSLN党）
二等書記官	ウィルフレド・ナバロ（再選）（FSLN党）
三等書記官	アレハンドロ・メヒア（再選）（ALN党）

イ また各政党の新議席数は以下の通り。（ ）は改選前の議席数。

サンディスタ民族解放戦線（FSLN）	75議席（70議席）
憲政自由党（PLC）	10議席（14議席）（大統領候補ウォルター・エスピノサ含む。憲法規定により、大統領選次点候補者には国会議員の議席が付与される。）
独立自由党（PLI）	2議席（2議席）
ニカラグア自由同盟（ALN）	2議席（2議席）
共和のための同盟（APRE）	1議席（1議席）
母なる大地の子たち（YAMATA）	1議席（1議席）
計	91議席
内20議席が比例代表。	

(3) 大統領就任式

10日、マナグア市内の革命広場にて大統領就任式が行われた。主な出席者は、ディアス・カネル・キューバ大統領、ニコラス・マドゥーロ・ベネズエラ大統領、ファン・オルランド・エルナンデス・ホンジュラス大統領、モフサン・レザーイー・イラン経済担当副大統領、曹建明・中国特使（全国人民代表大会常務委員会副委員長）、フェリックス・プラセンシア・ベネズエラ外相、リサンドロ・ロサレス・ホンジュラス外相、その他各国政府関係者多数（外交団、国際機関を含む。）が出席した。

(4) M&R Consultores 社による世論調査結果

ア 調査方法等

調査期間：2022年1月8日～18日

調査対象：16歳以上の男女1,585名

調査方法：電子機器を用いた訪問対面式

対象地域：15県、2自治区、134カ所

信頼度：95.5%（±2.5）

イ 調査結果

(ア) 最近外交関係を結んだ中国とニカラグアについて

同意する：69.7%

同意しない：9.3%

(イ) 中国との関係について

とても希望がある：78.9%

全く希望がない：7.3%

(ウ) 外国に対する印象

	肯定的	否定的	どちらでもない
中国	69.0%	9.5%	21.5%
ロシア	66.2%	9.0%	24.8%
欧州連合	60.3%	15.0%	24.7%
米国	47.3%	27.1%	25.7%

(エ) ニカラグア大統領選挙に対する米国からの批判について

同意する：23.3%

同意しない：61.4%

どちらでもない：15.3%

(オ) 自身のイデオロギーについて

左派：44.0%

右派：10.0%

中道：45.9%

(カ) 支持政党

FSLN：58.1%

野党：3.2%

なし：38.7%

(キ) オルテガ政権について

信頼できる：84.1%（とても：54.4%、概ね：29.7%）

信頼できない：15.9%

(ク) 政治形態について

	肯定的	否定的	どちらでもない
革新主義	66.9%	10.3%	22.7%
社会主義	59.4%	29.0%	11.7%
資本主義	36.1%	29.9%	34.0%
新自由主義	20.8%	49.2%	30.0%

(ケ) ニカラグアが抱える主な問題

経済：62.1%

政治：13.8%

社会：10.4%

保健：9.1%

(コ) 海外移住

	2021年12月	2021年10月	2021年9月
検討していない	31.9%	42.8%	36.3%

(サ) 運河が開通するであろう土地の所有者について

利益を得られる：55.5%

被害を被る：31.6%

(シ) ニカラグア湖の環境について

維持される：53.4%

損なわれる：31.9%

(ス) 利点について

運河建設はニカラグアに有益である：78.3%

(セ) 運河建設について

賛成：76.2%

反対：23.8%

2 外交

(1) イランとの文化覚書への署名

4日、ニカラグア文化庁は、イラン・イスラム文化通信機構との文化協力にかかる覚書に署名した。

(2) 外国政府からの制裁

ア 10日、米国政府はロサ・アデリナ・バラオナ・カストロ国防大臣国軍年金機構理事、ラモン・ウンベルト・カルデロ・ビンデル国軍大将・国有鉱山会社総裁、セリーナ・デルガード・カステジョン国営電力会社取締役兼通信郵便庁次長、ナヒマ・ジャネット・ディアス・フローレス通信郵便庁長官、バジャルド・デ・ヘスス・ブリド・オルティス軍准将国軍年金機構理事、バジャルド・ラモン・ロドリゲス・ルイス軍参謀総長国軍年金機構理事の6名を制裁対象に追加した。

イ 10日、欧州理事会は、カミラ・アントニア・オルテガ・ムリージョ大統領顧問兼カナル13（テレビ局）代表（オルテガ大統領夫妻子女）、ラウレアノ・オルテガ・ムリージョ投資振興機関顧問（オルテガ大統領夫妻子息）、ブレンダ・イザベル・ロチャ・チャコン最高選挙管理委員会委員長、カイロ・マルビン・アマドール・アリエッタ最高選挙管理委員会副委員長、ルンベルト・イグナシオ・キャンベル・フーカー最高選挙管理委員会委員、ナヒマ・ジャネット・ディアス・フローレス通信郵便庁長官、ルイス・アンヘル・モンテネグロ・エスピノサ銀行等金融機関監督局総監督の7名と、ニカラグア国家警察、最高選挙管理委員会、ニカラグア通信郵便庁の3組織を制裁対象に追加した。

ウ 24日、スイス政府は新たに7名と3組織を制裁対象に追加した。対象となったのは欧州理事会による制裁対象者、組織と同様。

(3) オルテガ大統領と中国とのバイ会談

10日、オルテガ大統領及びムリージョ副大統領が、曹建明特使とバイ会談を行った。大統領夫妻は、ニカラグアと中国の4つの協定（協力枠組み合意、一帯一路の枠組みにおける協力に関する覚書、外交・サービス・公務・公用パスポート所持者に対する査証免除合意、両国外務省間政策協議再開覚書）に署名した。

(4) モフサン・レザーイー・イラン経済担当副大統領との会談

ア 11日、ポラス国会議長は同副大統領と会談を行った。

イ 12日、オルテガ大統領及びムリージョ副大統領は同副大統領と会談を行った。

(5) オルテガ大統領とプーチン露大統領との電話会談

18日、オルテガ大統領とプーチン露大統領との電話会談が実施され、プーチン大統領からオルテガ大統領の再任及び大統領就任について祝辞が述べられた。また、様々な分野での二国間協力について議論した。

(6) 不法移民の動向

28日、米関税・国境取締局は、2021年に計87,572名のニカラグア人が米国への不法入国で逮捕されたと発表した。

3 新型コロナウイルス

(1) ワクチン情報

ア 6日、キューバ政府から購入したキューバ製ワクチン、ソベラナ02及びソベラナプラスが到着した。

イ 24日、COVAXファシリティーを通じたスペイン政府から供与のジョンソン・アンド・ジョンソン製ワクチン99万3400回分が到着した。スペイン政府からのワクチン供与は今回で累計274万8940回分となり、ニカラグアで最大のワクチン供与国である。

(2) 1月29日付市民監視団体の新型コロナウイルスに関する発表概要

ア 1月13日～1月29日の期間に全国で113件の感染及び感染疑いが報告され、累計31,505名となった。

イ 各県の主な感染割合は、マナグア県41%、エステリ県15%、グラナダ県14%である。

ウ 上記の期間にコロナウイルスの感染疑いで死亡した人は3名報告された。累計死者数は5,973名となった。

(3) 2月1日付保健省(MINSA)の新型コロナウイルスに関する週間レポート

ア 1月25日から2月1日までの間に、保健省は59名のCOVID-19陽性であると診断されたニカラグア人に対して、責任をもって注意深いフォローアップを行った。また32名がフォローアップ期間を終了した。

イ パンデミックが始まってから今日までの間、保健省は合計13,727対し、責任をもって注意深いフォローアップを行った。

エ この1週間の間に、COVID-19に起因する1名の死亡が確認された。(累計死者数221名) また肺血栓感染症、糖尿病、急性心筋梗塞、高血圧及び細菌性肺炎によって、複数のフォローアップ対象者が死亡した。

オ 本日までに、13,446名のニカラグア人が回復した。

(4) オミクロン株を確認

26日、汎米保健機構のウガルテ PAHO 緊急保健局局长は、ニカラグア国内で確認された新型コロナウイルス陽性者のほとんどがオミクロン株であり、デルタ株感染者は少数であったと発表した。

4 経済

(1) 月次経済活動指数

ア 20日、ニカラグア中央銀行は、2021年11月の月次経済活動指数は昨年度比で13.2%、2021年1月から11月の累積変動で10.0%、年平均で9.1%増加したと発表した。

イ 鉱業、採掘業が65.1%、建設業が36.3%、エネルギー業が23.4%、漁業、水産業が20.6%、ホテル・レストラン業が19.1%、貿易業が18.5%増加した。他方、金融仲介業および関連サービス業は4.4%、その他のサービス業では0.3%減少した。

(2) 2021年第4四半期の送金高

ア 25日、ニカラグア中央銀行は、2021年度第4四半期における送金高は21億4690万米ドルで、昨年度より2億9550万米ドル(16.0%)増加したと発表した。

イ 主な送金元は米国(63.8%)、スペイン(14.1%)、コスタリカ(12.5%)、パナマ(3.2%)、カナダ(1.4%)などである。

ウ 米国からの送金は2020年度比で23.3%、カナダからは29.7%、スペインからは11.1%、エルサルバドルからは5.7%増加した。他方、コスタリカからは0.5%、パナマからは2.8%減少した。

<主要経済指標>

	2019 年	2020 年	2021 年		
			10 月	11 月	12 月
インフレ率 (対前年同月)	6.1%	2.9%	4.27%	5.72%	7.21%
貿易収支 (百万ドル)	▲1,655.6	▲1,559.9	▲267.1	未発表	未発表
輸出 FOB (百万ドル)	2,696.8	2,852.0	266.5	未発表	未発表
輸入 FOB (百万ドル)	4,352.4	4,411.9	533.6	未発表	未発表
海外送金受取額 (百万ドル)	1,682.4	1,851.4	189.3	186.6	213.7
外貨準備高 (百万ドル/期末)	2,397.4	3,211.9	4,034.1	4,000.6	4,046.6

(出典：ニカラグア中央銀行、インフレ率のみ開発情報庁 (INIDE))

(了)